



前原中だより

船橋市立前原中学校

第4号

令和8年7月1日発行

- 教育目標 「調和のとれた人間性豊かな生徒の育成」
- (1) 確かな学力・自ら学んでいく生徒を育成する
 - (2) 豊かな心・他者を思いやる生徒を育成する
 - (3) 健やかな体・健康で活力のある生徒を育成する

無限

校長 後藤 洋美

とある日の新聞コラムに、「きっと私たちは、生まれてきたご用があるにちがいない」という言葉が目に入り、思わず書き留めました。命をいただいた私たちは、誰でも存在感があり、その人らしい愛おしい個性を生かして、何かの役に立っていると日々感じます。だから、前原中学校の生徒一人ひとりを見ていると、まだそのことにも気づかず、これから何年後、何十年後にそれが実感できればよいと願います。そのコラムには、こんなことが書かれていました。

人生。

それはお使いの途中で誰かに何を伝えるのか忘れてしまい、その「みえないことづけ」を握りしめて途方に暮れている子どものようなものだ。

生まれた時、誰でも小さな手を握りしめ、手足を丸めて誕生します。握られた小さな手は、間もなく手のひらを見せるようになります。その手のひらに握られていたものがあり、開いた手のひらからこぼれ落ちて飛んで行ったもの、それは「夢」だという話をきいたことがあります。この話を、今までずっと出会ってきた生徒たちに話す機会を持つてきました。前原中で話すのは初めてで、私が話す相手として順番が回ってきました。生まれた時に手に握りしめ、飛んで行った「夢」を追いかけるのが人生ではないかと。「生まれてきたご用」を達成する人生を、皆さんには楽しんで生きてほしいと願います。

まもなく45日間の長い夏休みです。学校生活が休憩になり、自分の心と身体を成長させる45日間です。体験、趣味、鍛錬、弱点の克服と、無限に有効な夏です。3年生は、緊張の日々でもありますが、多くの時間を自分で考えて使い、充実した毎日を過ごしましょう。

保護者の皆様、地域の皆様、しばし、家庭や地域の一員としての子どもたちを見守り、一歩ずつ大人に近づくよう、手を差しのべていただけると幸いです。

学校と教育委員会からのお知らせ

◇ 教育広報「夢気球」

千葉県教育委員会では、学校・家庭・地域の連携と協働を目指して、施策や事業及び特色ある取組の情報等を教育関係者や保護者、地域の方々などに広く発信するため、教育広報「夢気球」第71号を発行しました。下記アドレス等からご覧ください。

・PDF

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/yumekikyuu/r8/vol71-r0706.html>

・デジタルブック

<https://ebook.protos21.net/yumekikyuu71/>



教育広報「夢気球」 vol.71
(PDF)



教育広報「夢気球」 vol.71
(デジタルブック)

◇ ちば子ども大学について

さわやかちば県民プラザより、令和8年度「ちば子ども大学」について周知依頼がありました。この事業は、「ホンモノから学ぶ、ホンモノ体験」をテーマに、子供たちの自らの学びを広げ、深めることを目的としています。

令和8年度 「ちば子ども大学」

～ホンモノから学ぶ、ホンモノ体験～

さわやかちば県民プラザが実施する、企業や大学等と連携した小学4年生から中学3年生を対象とした「ちば子ども大学」の受講者を募集しています。日時や対象学年などは講座ごとに異なるので、2次元コード等からホームページへアクセスしてご確認ください。 【申込開始】各講座の1か月前

【URL】 <https://www.skplaza.pref.chiba.lg.jp/kodomodaigaku/>



◇ 部活動壮行会

6月26日(金)に部活動壮行会が行われ、各部活動の総体やコンクールの日程と決意表明の発表がありました。校長先生からは、「疾風に勁草を知る」という言葉が贈られました。

